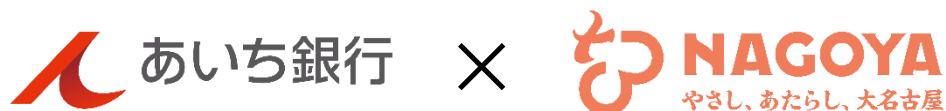




2025年6月30日

株式会社あいち銀行

名古屋市のプロモーション冊子「おいでよ！名古屋」を制作しました
～名古屋市のシティプロモーション活動への協力～



株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、名古屋市（市長 広沢 一郎）が推進するシティプロモーション活動に対する協力の一環として、プロモーション冊子「おいでよ！名古屋」を制作しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取組概要

地域の魅力はその地域で活動する企業にとって重要な経営資源の一つであり、産業集積や人材流入等多くの効果が見込まれるシティプロモーションは、地域金融機関である当行にとっても関係者の皆さまと連携しながら取り組むべき課題であると認識しています。

現在、名古屋市では、「住みたい」「働きたい」「訪れたい」「投資したい」都市として選ばれ、名古屋の持続的な発展・成長を実現することを目的とするシティプロモーションを推進しております。このたび当行は、名古屋市内に本店を構える地域金融機関として、名古屋市と連携し、名古屋の魅力を発信する冊子「おいでよ！名古屋」を制作しました。

当行と名古屋市は本冊子を活用し、シティプロモーション活動を推進してまいります。

2. 具体的内容

本冊子は、名古屋市のブランドコンセプト・ブランドスローガン・ブランドロゴの認知向上、ならびに名古屋の「住みやすさ」「働きやすさ」をPRする内容となっています。

配布方法	・当行取引先企業等への配布（1,500部） ・名古屋市主催イベント等での配布（500部） ・当行および名古屋市のホームページでの掲載
活用方法 (例)	企業の採用活動において、自社PRに加えて、名古屋の「住みやすさ」や「働きやすさ」を求職者にPRするツールとして活用。

3. その他シティプロモーションにかかる名古屋市との連携協力活動

(1) シティプロモーションのブランドロゴに関する普及啓発

2025年3月に名古屋市総務局が発表したシティプロモーションのブランドロゴを当行役職員の名刺に掲載し、普及啓発に協力します。



あいち銀行は
名古屋市のブランドパートナーです。

(2) サウンディング調査の実施

名古屋市が行うシティプロモーションに対するサウンディング調査を実施しました。地域企業の意見を集め、地域の声として名古屋市に届けることで、さらなるブランドの確立に向け今後も活動してまいります。

以 上



おいでよ！名古屋

- GuideBook for living in Nagoya -



名古屋ってこんな都市

名古屋は「空間的・時間的ゆとりがあり、子育てしやすく、便利で快適な住みやすい都市」、「世界レベルの産業技術や商業・サービス業が集積するなど、大都市ならではの強い経済力がある都市」、「高等教育機関の集積により地域が活性化されている都市」、「鉄道・高速道路・空港・港の広域的な交流ネットワークの中心であり拠点性を有する都市」、「豊かな文化を有し、スポーツを楽しめる都市」、「市民・多様な民間主体・行政が一丸となって課題に対応する力がある都市」です。こういった強みをベースに、市民やビジネスパーソン等が参加するワークショップ等の過程を経て、名古屋市のブランドコンセプト、ブランドストーリー、ブランドスローガン、ブランドロゴが発表されました。

ブランドコンセプト

やさしい大都市

ブランドストーリー

ずっと住んでいる人も、一度、名古屋を離れた人も。
賑わいが好きな人も、落ち着いた雰囲気が好きな人も。
夢を追いかける人も、自分の時間を大切にしたい人も。
日本の真ん中で、いろんな人や文化を受け入れてきた名古屋は、
一人ひとりを大切に、応援するやさしさがあります。

居心地がいいのは、居場所があるから。
住み続けたいのは、温もりがあるから。
人の役に立つモノづくりをするのは、「日常」を支えたいから。
サービス精神旺盛なのは、目の前の人をよこばせたいから。

いろんなものを足し算し、たくさんの「名古屋発祥」が
生まれてきたのは、大きなころがあったから。

ときどき「なんでもあり」とか「オリジナリティがない」とか
言われることもあるけれど、
ぜんぶ大切にしたいと思うから、どうしようもない。
でも、それがひとつの名古屋の誇りなんだと気づきました。

このたび、名古屋は名古屋を自慢します。
機能性や効率ばかりが追い求められがちな大都市において、
名古屋の素晴らしさは、そのところにある。
さりげなく、かっこつけることなく、ゆとりがあって豊か。
名古屋で送るそんな毎日を、もっと日本中、世界中に伝えよう。

そして、住みたくて、働きたくて、訪れたくて、応援したくて、
誰もが憧れるまちへ。やさしさを、力にして。

ブランドスローガン

やさし、
あたらし、
大名古屋

Open hearts,
endless possibilities

ブランドスローガンは、ブランドコンセプトやブランドストーリーに込めた想いを、プロモーションの際に積極的に露出するブランドツールとして活用します。
「やさしい大都市」というブランドコンセプトに、これからも名古屋が変わっていくという革新性や力強さも含めて、より親しみやすく愛着が湧く表現にしたフレーズです。

ブランドロゴ



なごやの「な」と「やさしさ」を象徴するハートを掛け合わせたデザイン。マークを回転することで、よりハートに見える遊び心があります。
左上には、名古屋市民になじみ深い「まるはち」をあしらひ、あえて「とめ」や「はらい」をあべこべにすることで、そういったユニークさを許容し、楽しんでくださる名古屋市民のころの大きさを表現しています。

みんなの声 (名古屋エリア在住の方々)

充実

《ゆとりや余裕がある街》

- ・日常にちょっとした贅沢がある。
適度に余裕があって、土日の朝に家族でモーニングなど、
たまにちょっとした贅沢をする。

《人としての幸せがある》

- ・平日も休日も充実している。
仕事以外に、家族やプライベートが充実している。
人とのつながりが感じられる。
- ・子どもも大人も笑顔が溢れる。

《選択肢が多様》

- ・何も諦めないでいい、欲張りな人がきてほしい。
- ・飾らない、素の自分での選択も受け入れられる。
- ・選択肢が多いから、やりたいことの実現やウェルビーイングに
つながる。
- ・夢を持てる。挑戦ができる。程よい刺激がある。

プライド

《名古屋で暮らすことに誇りを持てる》

- ・名古屋の独自性を持って暮らすことが幸せ。
- ・もっと豊かな名古屋を目指している。
- ・歴史も文化も都市も自然もある。

抜群のアクセス

《地理的な便利さ》

- ・日本の真ん中というロケーション。
- ・リニアが開通すれば東京まで 40min になる。
- ・経済的にも、地理的にも一通りの都市の魅力が揃っているから、
観光もレジャーも無理なく楽しめる。



モーニング文化

《おもてなしの気持ち》

- ・モーニング文化は「相手を喜ばせたい」という想いの象徴なのでは？
- ・どうせならおなかいっぱいになって欲しい。



ごちゃ混ぜ文化

《多様性がある街》

- ・ごちゃ混ぜで足し算の文化。
- ・受け入れて取り込む文化。色々な文化が混ざる街。
- ・他からの文化を受け入れてアレンジする独創性。
- ・働き方も多様。



都道府県別の経済的豊かさ (可処分所得と基礎支出の差額) ※中央世帯 (40 ~ 60%)

愛知	東京
245,453 円 (全国 7 位)	193,343 円 (全国 42 位)

出所：2021 年 国土交通省「都道府県別の経済的豊かさ
(可処分所得と基礎支出)」



通勤の機会費用について

愛知	東京
32,507 円 (全国 8 位)	58,142 円 (全国 1 位)

注：通勤の機会費用については、以下の統計の数値を元に算出。「平成 30 年住宅土地統計の通勤時間」、「令和元年毎月勤労統計地方調査における一ヶ月当たり出勤日数」及び「令和元年賃金構造基本統計における一時間当たり所定内給与」の積。(所定内給与は居住都道府県における数値を適用)



都道府県別の待機児童数

愛知	東京
57 人	361 人

出所：こども家庭庁「都道府県別保育所等利用状況」
(令和 6 年 4 月 1 日)



旅行・行楽する人の割合

愛知
全国 1 位

出所：統計局「令和 3 年社会生活基本調査の結果」

子育て

名古屋市で子育てをする際、支援される助成制度や支援事業をご紹介します。
安心して子育てを楽しむために、ぜひご活用ください！
子どもの成長をサポートする仕組みが整っています。



子ども医療費助成制度

18歳に到達した年度末までに病院などで受診した医療費の自己負担額を助成します。

※詳細は下記 HP をご確認ください。

<子ども医療費助成制度のご案内>

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000097221.html>



親子の遊び場（地域子育て支援拠点事業）

主として概ね3歳未満のお子さんと保護者を対象とした「親子の遊び場」として子育て応援拠点、地域子育て支援拠点、地域子育て支援センターなどが各中学校区に設置されています。
親子で一緒に遊んだり、講座を受けたり、子育ての悩みを相談したりできます。

※詳細は下記 HP をご確認ください。

<親子の遊び場のご案内（758 キッズステーション）>

<https://www.kosodate.city.nagoya.jp/index.html>



トワイライトスクール・トワイライトルーム

放課後等に小学校施設を活用して、学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の人々と交流することを通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育むことを目的として、トワイライトスクール・トワイライトルームを実施しています。

※詳細は下記 HP をご確認ください。

<トワイライトスクールのご案内>

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-14-4-5-0-0-0-0-0-0.html>



<トワイライトルームのご案内>

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-14-4-6-0-0-0-0-0-0.html>

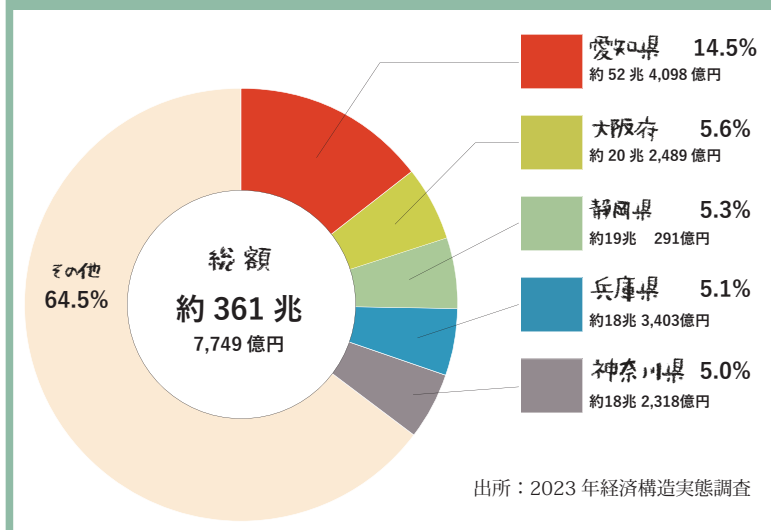




中部地方はものづくり産業の集積地で、トヨタ自動車をはじめとする自動車産業や関連企業が多く集積しています。加えて、航空宇宙産業（川崎重工業・三菱重工業など）や工作機械産業も発展しており、安定した経済基盤を持っています。

また名古屋市は、2020年7月に内閣府よりグローバル拠点都市に選定されており、様々なスタートアップ企業の支援システムが構築されています。

全国の製造品出荷額（2022年）



「2023 年経済構造実態調査」によると、愛知県の製造品出荷額は全国トップでシェア約 14.5% の約 52 兆 4,098 億円となっており、2 位の大阪府のシェア約 5.6%：約 20 兆 2,489 億円とは倍以上も差が開いています。

名古屋市の製造業は、自動車産業を中心に発展し、トヨタグループや関連企業が集積。EV・自動運転技術の研究開発も進んでいます。

航空宇宙産業では三菱重工が拠点をもち、工作機械や精密機械分野も強いです。

また、デンソーなどがロボット・FA 技術を開発し、名古屋港を活かした輸出入も活発で全国有数のものづくり拠点として、高度な技術力とサプライチェーンを誇り、安定した経済基盤を持っています。

名古屋市は東京都に比べて、雇用の安定性と快適な通勤環境、自由度の高い移動手段を備えており、就業面での優位性があります。

東京都の失業率は景気の影響を受けやすいサービス業中心の産業構造により変動しやすいですが、名古屋市は製造業が盛んなため比較的安定しています。

さらに、東京都は公共交通機関が発達している一方で、自家用車の保有率が低く、駐車場料金も高額です。これに対して名古屋市は自家用車の保有率が高く、駐車場料金も東京都の約半額と、移動の自由度が高いため、通勤負担を減らしながら安定した仕事に就きやすく、生活のしやすい面という面で優れた環境です。

家賃や物価の低さも相まって、可処分所得の面でも名古屋市は東京都より有利。これらの要素から、名古屋市は仕事と生活のバランスが取りやすく、快適に働ける環境の都市といえます。



都道府県別の失業率

愛知
2.0%

東京
2.6%

出所：総務省統計局「労働力調査」（2024 年平均）



都道府県別 自家用車普及台数

（自家用乗用車の世帯当たり）

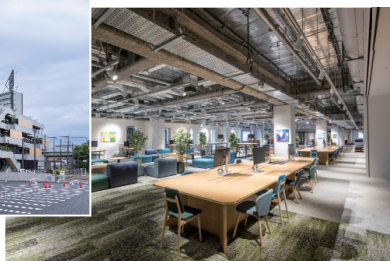
愛知
1.218 台

東京
0.41 台

出所：一般財団法人自動車検査登録情報協会
令和 6 年統計情報

Topics

2024 年 10 月 31 日 名古屋市昭和区鶴舞に日本最大級のオープンイノベーション拠点施設「STATION Ai（エーアイ）」がオープン！



STATION Ai

「STATION Ai（エーアイ）」は 2018 年に策定された「Aichi-Startup 戦略」に基づいて STATION Ai 株式会社が整備・運営事業を行う日本最大規模のオープンイノベーション拠点です。スタートアップの創出・育成やオープンイノベーションを促進するためのさまざまな支援サービスを提供します。

観光・レジャー

愛知県は、歴史や文化、自然が融合した観光・レジャースポットが豊富です。

名古屋城や岡崎城といった歴史的名所、ジブリパークなど話題のテーマパーク、三河湾や茶臼山高原などの豊かな自然が楽しめます。

カップルから家族旅行まで、多彩な魅力が詰まったエリアです。

名古屋城（名古屋市中区）

名古屋城は、徳川家康が築いた日本三大名城の一つです。金のシャチホコが輝く天守閣や、豪華絢爛な本丸御殿が見どころ。歴史と文化を体感できる観光名所として人気です。



バンテリンドーム ナゴヤ（名古屋市中区）

プロ野球・中日ドラゴンズの本拠地球場です。全長約106メートルの106ビジョンを使った演出は見逃せません。コンサートやイベントも開催され、多目的に利用されています。



© 株式会社ナゴヤドーム

ジブリパーク：愛・地球博記念公園内（長久手市）

愛・地球博記念公園は、愛知万博の会場跡地にある広大で緑豊かな公園です。公園内にはスタジオジブリ作品の世界を表現したジブリパークがあり、世代を問わず楽しめます。



© Studio Ghibli

レゴランド®・ジャパン・リゾート（名古屋市中区）

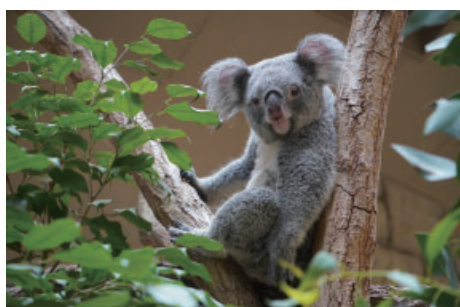
レゴランド®・ジャパン・リゾートは日本初上陸、世界9ヶ国8番目の展開となる、レゴ®ブロックの世界をテーマにした“家族で一日楽しめる屋外型キッズテーマパーク”です。



©2025 The LEGO Group.

東山動植物園（名古屋市中区）

約450種の動物に加え、四季折々の植物が楽しめる広大な敷地。特に話題のニシゴリラ「シャパーニ」やコアラが人気。遊園地や東山スカイタワーもあり、一日中楽しめます。



© 名古屋市東山動植物園

吉良ワイキキビーチ（西尾市）

吉良ワイキキビーチは、西尾市にある南国風の人気海水浴場です。ヤシの木が並ぶ美しい景観と穏やかな海が特徴で、家族連れやカップルに最適です。



つぐ高原グリーンパーク（北設楽郡設楽町）

標高900mの高原に位置し、夏でも涼しい気候が特徴。キャンプサイトのほか、釣り堀や天文台もあり、家族で楽しめるスポットです。道の駅も併設されています。



豊川稲荷（豊川市）

豊川稲荷は日本三大稲荷の一つで、商売繁盛や家内安全のご利益で知られる寺院です。荘厳な本殿や狐像が並ぶ参道が特徴で、多くの参拝者が訪れます。



グルメ

名古屋グルメ「なごやめし」は、濃厚でコクのある味付けが特徴。特に「味噌文化」が根付いており、赤味噌を使った味噌煮込みうどんや、八丁味噌を使った味噌カツ、どて煮は名物料理。甘辛い味付けとボリューム満点の料理が多く、ひつまぶしや台湾ラーメンなど個性豊かな味わいが楽しめる。一度食べたらクセになる魅力満載！！



モーニング文化

モーニング文化は、愛知県を中心に根付く独特な喫茶店のサービスです。朝のコーヒーを注文すると、トーストやゆで卵、小倉あんなどが無料または低価格で提供されるのが特徴。シンプルなセットから豪華な内容まで、店ごとに個性があり、地元の人々の日常に欠かせない存在となっています。特に名古屋では「モーニング巡り」を楽しむ人も多く、観光客にも人気。お得感と心温まるおもてなしが魅力です。

味噌煮込みうどん

味噌煮込みうどんは、名古屋を代表する郷土料理です。コシの強いうどんを、濃厚な赤味噌仕立ての出汁で煮込んだ一品で、寒い季節には特に人気があります。具材には鶏肉、ねぎ、しいたけ、卵などが使われ、味噌のコクと具材の旨みが絡み合った深い味わいが特徴。土鍋でグツグツと煮込まれた熱々の状態で提供されるのも魅力で、最後の一口まで冷めずに楽しめます。



ひつまぶし

ひつまぶしは、「なごやめし」を代表する鰻料理で、香ばしく焼き上げた鰻を細かく刻み、特製の甘辛いタレとともにご飯にのせた一品です。一杯目はそのままの味を楽しみ、二杯目は薬味を加えて風味を変え、三杯目は出汁をかけてお茶漬け風に。最後にお好みのスタイルで締める、贅沢な味の変化を堪能できる名古屋名物です。

台湾ラーメン

台湾ラーメンは、名古屋で誕生したピリ辛ラーメンです。鶏ガラベースのスープに、唐辛子で炒めた挽き肉、ニラ、もやしがたっぷりトッピングされ、刺激的な辛さが特徴。名前に「台湾」とついていますが、実は台湾ではなく、日本独自にアレンジされた一品です。スパイシーな味わいがクセになり、ご飯との相性も抜群。辛い物好きにはたまらないラーメンです。

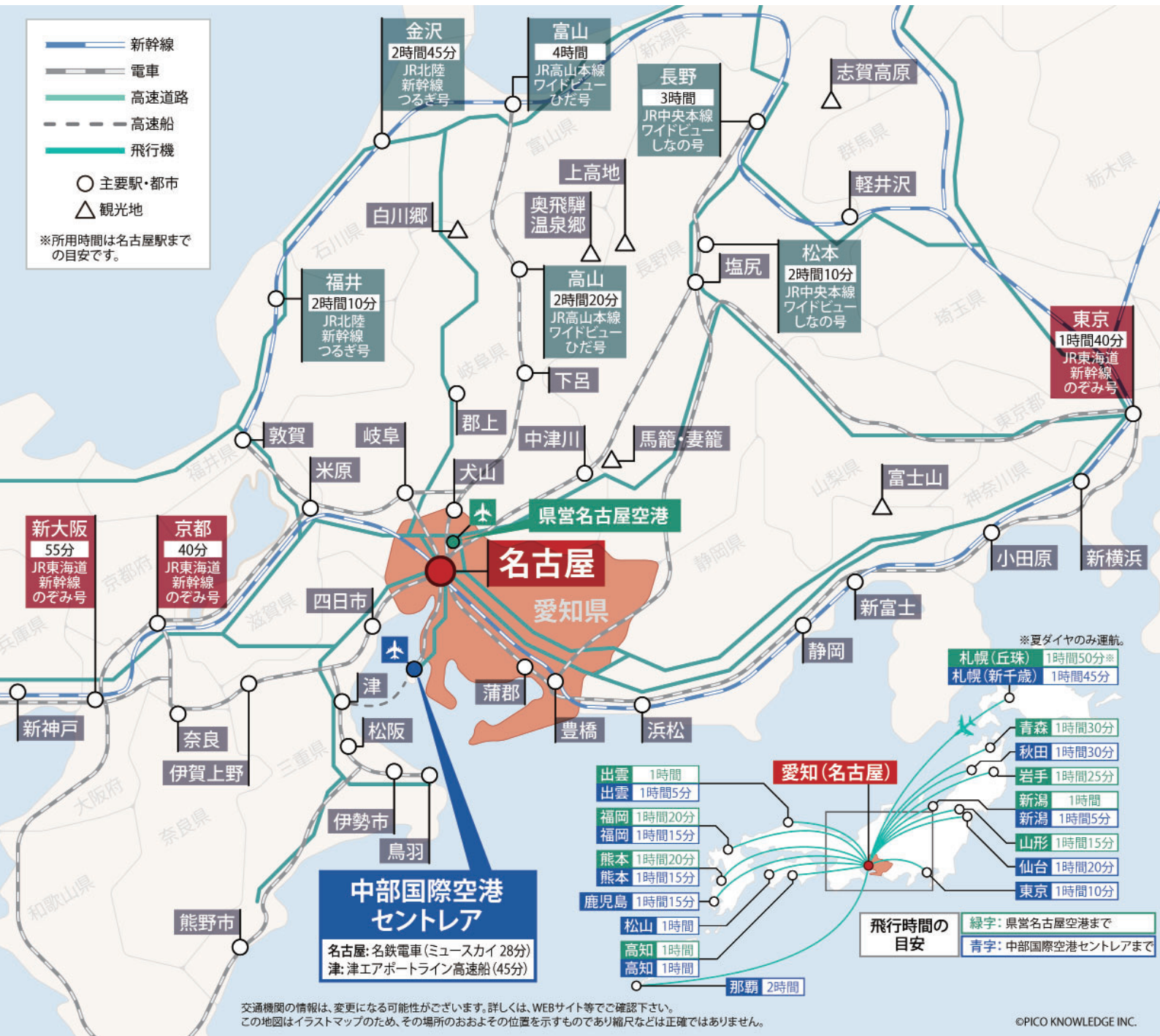


天むす

天むすは、名古屋を代表するご当地グルメのひとつです。小ぶりのおむすびに、香ばしいエビの天ぷらを丸ごと包み込んだ一品で、海苔の風味と甘辛い味付けが絶妙なハーモニーを奏でます。食べやすいサイズで、手軽に楽しめるのも魅力。発祥は三重県津市ですが、名古屋で進化を遂げ、全国的な人気となりました。お弁当やお土産としても喜ばれる、素朴ながら奥深い味わいの名物です。

アクセス

市営地下鉄やバス網が充実し、市内移動がスムーズです。
 高速道路が放射状に伸び、近隣都市へのアクセスも良好。
 新幹線が停車する名古屋駅を中心に、JR・名鉄・近鉄が広域をカバーしています。
 さらに名鉄特急で直通アクセスが可能な中部国際空港を備え、国内外への移動が便利です。
 名古屋市を拠点に様々な都市に観光やビジネスが可能です。



発行/株式会社あいち銀行 (2025年3月)
 〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号
 TEL 052-251-3211

制作/株式会社あいち FG マーケティング (2025年3月)
 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目14番12号
 TEL 052-262-9517

監修/名古屋市総務局企画部企画課: シティプロモーション推進担当 (2025年3月)
 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
 TEL 052-972-4450